

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名	
-------	--

分 析 項 目	
分 析 方 法	スペクトル干渉の補正又は低減方法
前 処 理 日	
分 析 日	

【分析結果】

標 準 液		内標準物質及び濃度
標準液 1		
標準液 2		
標準液 3		
標準液 4		
標準液 5		
標準液 6		
標準液 7		
標準液 8		
標準液 9		

上記の面積値等と濃度の 相関から得られた数式	X:	Y:
---------------------------	----	----

相関係数 (R)	(相関式は一次式以外でも可)
決定係数 (R ²)	

試 料	前処理試料 分取量 (mL)	前処理定容量 (mL)	分析時の 希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試料ブランク					
試料 1 回目					
試料 2 回目					
試料 3 回目					

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入

	mg/L
--	------

(記入例)

(様式 1)

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名	〇〇〇〇株式会社大阪試験センター
-------	------------------

分析項目	ひ素		
分析方法	JIS K 0102 61.4	スペクトル干渉の補正又は低減方法	コリジョン・リアクションセル
前処理日	H27.11.11		
分析日	H27.11.12		

ひ素の分析を、JIS K 0102. 61.4を用いて分析した場合のみ、スペクトル干渉を補正する手法又は低減する手法を記入する。

濃度(単位)又は重量(単位)を記入する。

【分析結果】

標準液	濃度(μg/L)	イオンカウント数の比	内標準物質名・濃度 In 20.0 μg/L
標準液 1	0	0.0584	602000
標準液 2	1	1.92	607000
標準液 3	5	10.3	597000
標準液 4	10	22.6	606000
標準液 5	15	29.5	649000
標準液 6			
標準液 7			
標準液 8			
標準液 9			

吸光度、ピーク%、面積、発光強度、強度比、イオンカウント数の比等該当するものを記入する。(オートアナライザーを用いた場合は、ピーク%を記入す

内標準法を採用するときは内標準物質名、濃度を記入する。

検量線の作成に用いた標準液を全て記入する。

X、Yの内容を明確にする。

上記の面積値等と濃度の 相関から得られた数式	$Y=2.0325X+0.2736$	X: 濃度(μg/L)	Y: イオンカウント数の比
相関係数(R)	0.9955	(相関式は一次式以外でも可)	
決定係数(R ²)	0.9910		

計算過程が記入しきれない場合は別紙に記入して提出しても良い。

試料	イオンカウント数の比	前処理試料分取量(mL)	前処理定容量(mL)	分析時の希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試料ブランク	0.502413	50	100	2	-	$(0.5024126-0.2736) \times (1/2.0325) \times (1/1000) \times (100/50) \times 2=0.000450$
試料 1 回目	7.871362	50	100	2	-	$(7.871362-0.2736) \times (1/2.0325) \times (1/1000) \times (100/50) \times 2-0.000450=0.01450$
試料 2 回目	7.760824	50	100	2	-	$(7.760824-0.2736) \times (1/2.0325) \times (1/1000) \times (100/50) \times 2-0.000450=0.01474$
試料 3 回目	7.980591	50	100	2	-	$(7.980591-0.2736) \times (1/2.0325) \times (1/1000) \times (100/50) \times 2-0.000450=0.01517$

換算係数があれば記入する。

個々のデータを算出する時にブランク値を差し引く。

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入

0.015	mg/L
-------	------

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名	
-------	--

分 析 項 目	
分 析 方 法	
前 処 理 日	
分 析 日	

【分析結果】

標 準 液	硝 酸 性 窒 素 又 は 硝 酸 イ オン		亜 硝 酸 性 窒 素 又 は 亜 硝 酸 イ オン	
標 準 液 1				
標 準 液 2				
標 準 液 3				
標 準 液 4				
標 準 液 5				
標 準 液 6				
標 準 液 7				
標 準 液 8				
標 準 液 9				
上記の面積値と重量等の相関から得られた数式			X:	Y:
相 関 係 数 (R)			(相関式は一次式以外でも可)	
決 定 係 数 (R ²)				

試 料	硝 酸 性 窒 素			定 量 結 果 の 算 出 方 法 (最 終 定 量 結 果 ま だ の 計 算 式 と 計 算 結 果 を 記 入)	mg/L
	分析時の希釈倍率	換算係数			
試 料 プ ラ ン ク					
試 料 1 回 目					
試 料 2 回 目					
試 料 3 回 目					

試 料	亜 硝 酸 性 窒 素			定 量 結 果 の 算 出 方 法 (最 終 定 量 結 果 ま だ の 計 算 式 と 計 算 結 果 を 記 入)	mg/L
	分析時の希釈倍率	換算係数			
試 料 プ ラ ン ク					
試 料 1 回 目					
試 料 2 回 目					
試 料 3 回 目					

【報告値】 (有効数字2桁表示) 並行測定 of 硝酸性窒素の平均値と亜硝酸性窒素の平均値の合計値の3桁目を四捨五入

硝 酸 性 窒 素 及 び 亜 硝 酸 性 窒 素		mg/L
---------------------------	--	------

(記入例)

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名	〇〇〇〇株式会社大阪試験センター
-------	------------------

分析項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
分析方法	JIS K 0102 43.1.2及び43.2.5
前処理日	H27.11.11
分析日	H27.11.12

濃度(単位)又は重量(単位)を記入する。

ピーク面積又は高さを記入する。

【分析結果】

標 準 液	硝酸性窒素又は硝酸イオン		亜硝酸性窒素又は亜硝酸イオン	
	濃度(mg/L)	面積値	濃度(mg/L)	面積値
標準液 1	0	0	0	0
標準液 2	2	345100	2	361100
標準液 3	4	712100	4	690000
標準液 4	10	1684000	10	1825000
標準液 5	20	3542000	20	3652000
標準液 6				
標準液 7				
標準液 8				
標準液 9				
上記の面積値と重量等の相関から得られた数式	Y=175420X+0		Y=182254X+0	
相関係数(R)	0.9996		0.9999	
決定係数(R ²)	0.9992		0.9998	

検量線の作成に用いた標準液を全て記入する。

X、Yの内容を明確にする。

X: 濃度(mg/L) Y: 面積
 (相関式は一次式以外でも可)

試 料	硝 酸 性 窒 素			
	面積値	分析時の希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試料ブランク	0	1	0.2259	0.0/175420 × 1 × 0.2259 = 0.000000
試料 1 回目	400000	1	0.2259	400000/175420 × 1 × 0.2259 - 0.000000 = 0.515106
試料 2 回目	395000	1	0.2259	395000/175420 × 1 × 0.2259 - 0.000000 = 0.508667
試料 3 回目	390000	1	0.2259	390000/175420 × 1 × 0.2259 - 0.000000 = 0.502228

試 料	亜 硝 酸 性 窒 素			
	面積値	分析時の希釈倍率	換算係数	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試料ブランク	0	1	0.3045	0.0/182254 × 1 × 0.3045 = 0.000000
試料 1 回目	400000	1	0.3045	400000/182254 × 1 × 0.3045 - 0.000000 = 0.668298
試料 2 回目	385000	1	0.3045	385000/182254 × 1 × 0.3045 - 0.000000 = 0.643237
試料 3 回目	395000	1	0.3045	395000/182254 × 1 × 0.3045 - 0.000000 = 0.659944

個々のデータを算出する時にブランク値を差し引く。

【報告値】 (有効数字2桁表示) 並行測定の硝酸性窒素の平均値と亜硝酸性窒素の平均値の合計値の3桁目を四捨五入

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1.2	mg/L
---------------	-----	------

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名

分析項目	
分析方法	
前処理日	
分析日	

【分析結果】

標準液	トリクロロエチレン			テトラクロロエチレン			内標準物質及び濃度	
		面積値	面積値/内標面積値		面積値	面積値/内標面積値	面積値	
標準液 1								
標準液 2								
標準液 3								
標準液 4								
標準液 5								
標準液 6								
標準液 7								
標準液 8								
標準液 9								
上記の面積値と重量等の相関から得られた数式							X:	Y:
相関係数(R)							(相関式は一次式以外でも可)	
決定係数(R ²)								

試料	トリクロロエチレン					
	面積値	内標面積値	面積値/内標面積値	試料量(mL)	希釈倍率	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試料ブランク						
試料 1 回目						
試料 2 回目						
試料 3 回目						

試料	テトラクロロエチレン					
	面積値	内標面積値	面積値/内標面積値	試料量(mL)	希釈倍率	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
試料ブランク						
試料 1 回目						
試料 2 回目						
試料 3 回目						

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入

トリクロロエチレン		mg/L
テトラクロロエチレン		mg/L

(記入例)

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名	〇〇〇〇株式会社大阪試験センター
-------	------------------

分析項目	トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン
分析方法	JIS K 0125 5.2
前処理日	H27.11.11
分析日	H27.11.11~12

濃度(単位)又は重量(単位)を記入する。

使用した内標準物質及び濃度(単位)を記入。

【分析結果】

標準液	トリクロロエチレン			テトラクロロエチレン			内標準物質及び濃度
	重量(ng)	面積値	面積値/内標面積値	重量(ng)	面積値	面積値/内標面積値	フルオロベンゼン 10 µg/L 面積値
標準液 1	0	0	0	0	0	0	110000
標準液 2	10	4885	0.033531019	10	8720	0.059854756	145686
標準液 3	50	25655	0.222138522	50	45798	0.396550381	115491
標準液 4	100	43852	0.436994888	100	83204	0.829146279	100349
標準液 5	500	285494	2.533333333	500	486021	4.312711300	112695
標準液 6							
標準液 7							
標準液 8							
標準液 9							
上記の面積値と重量等の相関から得られた数式	Y=0.005106X - 0.02878			Y=0.008666X - 0.02427			X: 重量(ng) Y: 面積値比
相関係数(R)	0.9985			0.9994			(相関式は一次式以外でも)
決定係数(R ²)	0.9970			0.9988			X、Yの内容を明確にする。

検量線の作成に用いた標準液を全て記入する。

X、Yの内容を明確にする。

試 料	トリクロロエチレン			試料量(mL)	希釈倍率	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
	面積値	内標面積値	面積値/内標面積値			
試料ブランク	0	120000	0	10	1	$(0+0.02878) \times (1/0.005106) \times (1/10) \times (1/1000) = 0.0005637$
試料 1 回目	212455	115686	1.836479781	10	2	$2 \times ((1.836479781+0.02878) \times (1/0.005106) \times (1/10) \times (1/1000)) - 0.0005637 = 0.07250$
試料 2 回目	205195	115491	1.776718532	10	2	$2 \times ((1.776718532+0.02878) \times (1/0.005106) \times (1/10) \times (1/1000)) - 0.0005637 = 0.07016$
試料 3 回目	181803	100349	1.811707142	10	2	$2 \times ((1.811707142+0.02878) \times (1/0.005106) \times (1/10) \times (1/1000)) - 0.0005637 = 0.07153$

試 料	テトラクロロエチレン			試料量(mL)	希釈倍率	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計算結果を記入) mg/L
	面積値	内標面積値	面積値/内標面積値			
試料ブランク	0	120000	0	10	1	$(0+0.02427) \times (1/0.008666) \times (1/10) \times (1/1000) = 0.0002801$
試料 1 回目	594111	115686	5.135547949	10	2	$2 \times ((5.135547949+0.02427) \times (1/0.008666) \times (1/10) \times (1/1000)) - 0.0002801 = 0.1188$
試料 2 回目	591802	115491	5.124226130	10	2	$2 \times ((5.12422613+0.02427) \times (1/0.008666) \times (1/10) \times (1/1000)) - 0.0002801 = 0.1185$
試料 3 回目	537002	100349	5.351343810	10	2	$2 \times ((5.35134381+0.02427) \times (1/0.008666) \times (1/10) \times (1/1000)) - 0.0002801 = 0.1238$

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入

トリクロロエチレン	0.071	mg/L
テトラクロロエチレン	0.12	mg/L

個々のデータを算出する時にブランク値を差し引く。

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名	
-------	--

分 析 項 目	
---------	--

分 析 方 法	
---------	--

分 析 日	
-------	--

【測定条件】

5mmol/L の過マンガン酸カリウムのファクター	
---------------------------	--

試 料	試料分取量(mL)	銀の種類	銀の添加量 硝酸銀溶液の場合はmL, 硝酸銀(粉末)又は硫酸銀 (粉末)の場合はg	5mmol/Lの過マンガン酸 カリウムの滴定量(mL)	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計 算結果を記入) mg/L
試料ブランク		硝酸銀溶液(200g/L)			
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			
試料 1 回 目		硝酸銀溶液(200g/L)			
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			
試料 2 回 目		硝酸銀溶液(200g/L)			
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			
試料 3 回 目		硝酸銀溶液(200g/L)			
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入

	mg/L
--	------

(記入例)

(様式 4)

分 析 結 果 報 告 書

機 関 名	〇〇〇〇株式会社大阪試験センター
-------	------------------

分 析 項 目	化学的酸素要求量(COD)
分 析 方 法	JIS K 0102 17 100°Cにおける過マンガン酸カリウムによる酸素消費量(COD(Mn))
分 析 日	H27.11.12

【測定条件】

5mmol/Lの過マンガン酸カリウムのファクター	1.001
--------------------------	-------

添加した銀化合物の種類ごとに添加量を記入。
溶液と粉末では単位が違うので注意。

試 料	試料分取量(mL)	銀の種類	銀の添加量 硝酸銀溶液の場合はmL, 硝酸銀(粉末)又は硫酸銀 (粉末)の場合はg	5mmol/Lの過マンガン酸 カリウムの滴定量(mL)	定量結果の算出方法 (最終定量結果までの計算式と計 算結果を記入) mg/L
試料ブランク	100	硝酸銀溶液(200g/L)	5	0.154	最終定量結果までの計算式と定量結果を記入。
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			
試料 1 回 目	50	硝酸銀溶液(200g/L)	5	4.894	$(4.894 - 0.154) \times 1.001 \times 1000 / 50 \times 0.2 = 18.979$
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			
試料 2 回 目	50	硝酸銀溶液(200g/L)	5	5.012	$(5.012 - 0.154) \times 1.001 \times 1000 / 50 \times 0.2 = 19.451$
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			
試料 3 回 目	50	硝酸銀溶液(200g/L)	5	5.100	$(5.100 - 0.154) \times 1.001 \times 1000 / 50 \times 0.2 = 19.804$
		硝酸銀溶液(500g/L)			
		硝酸銀(粉末)			
		硫酸銀(粉末)			

【報告値】 (有効数字2桁表示) 平均値の3桁目を四捨五入

19	mg/L
----	------